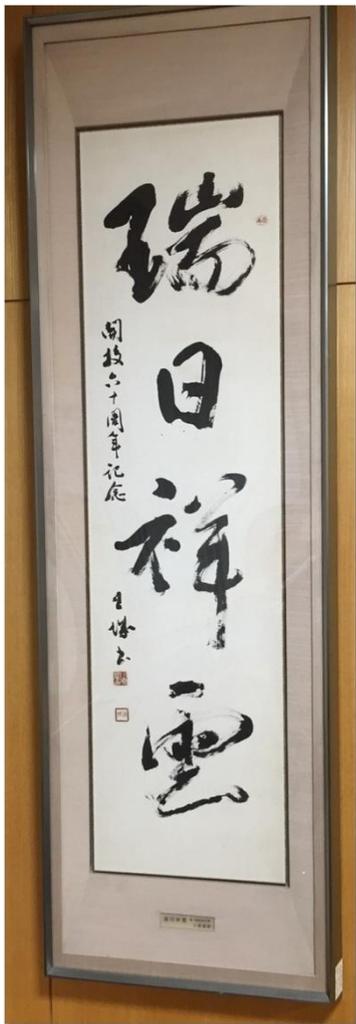


## 書 「飛躍と瑞日祥雲」

本校職員玄関から入ると正面に飾られている書がまず目に入ります。「飛躍 平成元年開校六十周年 太虚書」(右)と書かれています。山田太虚先生の書。3月に本校を訪れたときにどうしてここに山田先生の書がと。校長室に入ると「瑞日祥雲 開校六十年記念 道城書」(左下)小原道城先生の書。これも何故という疑問が。よくよく調べてみると両者とも本校の卒業生であることが分かりました。エネルギッシュな飛躍とめでたい日、幸運をもたらす雲を意味することば「瑞日祥雲」。本校の六十周年を記念して揮毫していただいたものと思われます。二人とも北海道を代表する書家として現在も活躍されております。簡単な略歴を紹介します。



### ■山田 太虚 (本名 進)

昭和 31 年 北海道栗山高等学校卒業。岩手大学書道科入学。  
昭和 32 年 徳野大空に師事。  
昭和 53 年 書究文化書芸院創立。書道誌『書究』発刊。  
平成 02 年 毎日展審査会員。  
平成 16 年 現代の書・新春 100 人展出品。  
平成 19 年 東京銀座・銀座画廊にて古稀記念書展。  
《現在》  
毎日書道展審査会員 書道虚心会会長 書道誌「書究」主宰

### ■小原 道城 (本名 昇)

昭和 33 年 北海道栗山高等学校卒業。  
昭和 38 年 北海道学芸大学札幌分校美術科 (書道専攻) 卒業  
昭和 46 年 第 13 回北海道書道展で準大賞受賞  
昭和 56 年 有限会社日本書道評論社代表となる  
平成 12 年 北海道文化奨励賞受賞  
平成 16 年 “書一筋 50 年” 小原道城書の世界展  
《現在》  
毎日書道展審査会員 日本書道評論社・北海道書道協会役員

本校からこのような優れた作家が二人も輩出していることは大変素晴らしいことであり、本校の誇りでもあります。

文責 北海道栗山高等学校長